

文化いせさき

第15号



「小泉稻荷神社の大鳥居」 撮影者 松原 健一

伊勢崎市文化協会

令和8年度 伊勢崎市文化協会事業

伊勢崎市文化協会では、1年を通じて下記の事業を行います。
入場無料ですので、ぜひご来場ください。

事業名 華蔵寺公園花まつり
郷土芸能発表会
期 日 令和8年4月5日(日)
会 場 華蔵寺公園野外ステージ



花まつり / 郷土芸能

事業名 いせさきまつり
民踊流し・郷土芸能発表会
期 日 令和8年9月26日(土)・27日(日)
会 場 おまつり広場 外



いせさきまつり / 郷土芸能



いせさきまつり / 民踊流し

事業名 伊勢崎市文化協会創立20周年記念文化祭
期 日 令和8年11月21日(土)～23日(月・祝)
会 場 メガネのイタガキ文化ホール伊勢崎



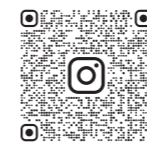
文化祭 / 洋舞



文化祭 / 書道



文化協会ホームページ
はコチラから



@ISESAKISHI_BUNKA
文化協会 Instagram
はコチラから

編集後記

五月晴れの空がひとときわ美しい季節となりました。皆様のご協力のもと、「文化いせさき」第十五号を刊行できますことを、心より嬉しく存じます。
本号では、各部門の日頃の研鑽の成果をご報告いたしました。今回の編集を通して、地域に根ざした取り組みや世代を超えた地道な活動の積み重ねが、豊かな文化を育み、まちに彩りを添えていることを改めて実感いたしました。
文化活動は、人と人とを結び、心を潤し、未来へ受け継がれる大切な営みです。これからも、この歩みを着実に進めてまいります。
最後に、会報編集委員のご尽力、賛助会員の皆様のご支援、そして事務局の多大なご協力に心より感謝申し上げます。

本間 利男 記

文化活動の次世代への継承と発展

伊勢崎市文化協会

会長 新井 哲郎



日頃より伊勢崎市文化協会の活動に深いご理解と温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。当協会は約三千九百人の会員で構成され、十五部門に分かれて活動しております。会員の皆様をはじめ、地域の文化を守り育てる取り組みにご尽力くださる方々によって私たちの活動は支えられています。

文化とは、日々の生活の営みの中で人々が長い時間をかけて作り上げ、共有し、継承してきた貴重な財産です。そして文化を守り、次世代に継承していくことで、人と人とのつながりが生まれ、地域の魅力を形作り、私たちの心を豊かにしてくれるのだと信じております。

私たち文化協会では文化活動を通じて文化の多様な芽を守り、次世代につなげる役割を果たしてまいりたいと考えております。

当協会では文化活動を次世代へつなげるため「キッズはじめて文化チャレンジ」を実施し、子供たちに文化活動を体験してもらおう事業を行っております。令和七年度は九部門で実施し、百人を超える子供たちに文化活動の体験の場を提供

することができました。初めて触れる伝統に戸惑いながらも精一杯覚えようとする真剣な眼差し、作品を作り上げようと目を輝かせながら取り組み姿には胸を打たれる思いがあります。また、子供たちの文化活動への取り組みはこれまでの文化活動に新たな視点加わり、長く文化活動に携わってきた私たちにとても大きな刺激となります。世代を超えて異なる価値観が重なり合い、これまでの文化に新たな視点が生まれ、地域文化がより豊かに発展していくことを願っております。

また、令和八年度は伊勢崎市文化協会創立二十周年事業として全部門合同による文化祭の開催を予定しております。文化協会員一丸となって取り組み、盛大に文化祭が開催されることを心より願っております。

結びに、伊勢崎市文化協会を支えてくださる賛助会員の皆様や事務局に感謝申し上げますとともに、今後も更なるご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。挨拶といたします。

伊勢崎市文化協会 各部門のあゆみ

歌謡部門

歌は心

井上 喜久寿

挨拶が終わると会場は一瞬静寂に包まれました。舞台の中央上部には横断幕が下がっていて、第三十四回歌謡部門発表会と書かれています。客席の方はまだまばらで舞台のみが強い照明とスポットライトに照らされて輝いています。

舞台の裏側では、すでに十人程の出演者が華やかな衣装に身を包んでお互いに着めあつたり、不具合を指摘しあつたり雑談に花を咲かせています。一方舞台受付では早番なのにいまだ受付を済ませていない人もおり、捜し歩くなごスタート時点で特に忙しい係です。音響係は、スタートの合図まではプログラム等チェックしています。出演者は進行係からマイクを受け取ると間もなくMCが番号、名前、曲名のアナウンスを流します。間髪を入れずイントロが流れ、そして舞台の



中央へと進みます。第三十四回歌謡部門発表会を令和七年六月二十九日(日)人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センターにおいて実施しました。参加人数は百六十名でした。前日の土曜日は十八時より役員総出で会場設営や受付、司会、舞台進行、会場、楽屋等の準備を行いました。当日九時に開場し、予鈴が鳴り館内に緊張感が漂いました。本鈴が鳴ると館内は一層緊張感に包まれました。

新井哲郎文化協会会長による挨拶、北サヨ子実行委員長の挨拶と続き、イントロが流れいよいよ発表会がスタートします。最近参加者の歌唱レベルが高くプロに負けない歌唱力の方が多くいます。カラオケ機器の発達と指導者の努力の成果でしょうか。益々の向上を願っています。一つだけ心配事は、高齢化による会員の減少です。何か対策が必要かもしれません。十年で半減しました。

歌は聞く人の心に響いてこそ歌であり、心に残ってこそ歌である。日本人が日本人であり続ける限り演歌や日本人のメロディーが永遠に途絶えることはない。(船村徹)



邦楽舞踊部門

素晴らしき日本の伝統芸能

川島 和美

今年「キッズはじめて文化チャレンジ」でお筆を学んだ九名の可愛い子供たちによる「さくらさくら」で始まり、会場内が春の訪れとともに和やかで温かい雰囲気の中、幕を開けることができました。

私たち邦楽舞踊部門は、格調高いお能をはじめ、箏曲、日本舞踊の十八団体で構成されています。その中で日本舞踊は、古典と新作等に分かれ、役柄に応じて衣装、曲、化粧等が変わり、日本の歴史や美意識を身体を通して表現する総合芸術であります。アスリートと同様、お稽古は厳しいものですが、観る人の心を魅了することができるよう日々稽古を重ね、舞台に臨んでおります。

また、「こ近年の映画『国宝』の影響もありまして、日本人はもちろんのこと、海外の方々にも邦楽舞踊への興味が高まっているところがあります。海外に日本の伝統芸能を知ってもらうことができるきっかけとなつて、国際交流が生まれたらうれしい限りでございます。

最後になりますが、「邦楽舞踊のついで」の開催にあたり臂泰雄市長をはじめ、三好賢治教育長、事務局、メガネのイタガキ文化ホール伊勢崎の職員の皆様には、多大なるご尽力をいただきました。誠にありがとうございます。



【表紙説明】《小泉稻荷神社の大鳥居》

小泉稻荷神社の大鳥居は、神社の西側に位置する、群馬県で一番大きい大鳥居です。高さ二二・一七mを誇り、伊勢崎市を代表する観光スポットとして知られています。小泉稻荷神社は、商売繁盛の御利益があることで知られ、年末年始は市内外から多くの参拝者が訪れます。秋になると、大鳥居周辺に色とりどりのコスモスが咲き誇り、訪れる人の目を楽しませています。

吟剣詩舞部門

伝統文化を次世代へ

原 けい子

厳しかった寒さもようやく和らいで、吹く風に春の匂いが漂う好季節の頃「第十九回吟剣詩舞の集い」が去る令和八年三月二十一日(土)にメガネのイタガキ文化ホール伊勢崎小ホールにて盛大に開催されました。

小学生から九十代の幅広い年代を超えた十七団体の会員が日頃の稽古の成果を存分に発揮し、多彩なプログラムで会場を盛り上げました。中でもキッズはじめて文化チャレンジに参加していただいた幼稚園児から中学生九名による剣舞「白虎隊」はとても素晴らしい演技でした。迫真の演技で当時の少年たちの心情を表現しており、見ている人の涙を誘っていました。この体験教室での舞台経験が良い思い出となり、いつの日かこの吟剣詩舞の舞台に戻ってきてくれることを願っております。

また、賛助出演として玉村町文化協会から詩吟の会居合道や型演舞華道など詩吟と合わせて、それぞれの伝統を守り舞台で融合する様は見えていて圧巻です。この他にも弓道や書道、茶道等も吟詠と合わせて色々な組み合わせで楽しむことができます。

ご来賓として、臂泰雄市長より「日本古来の伝統文化、芸能は世界に誇れるものであり、その継承は容易ではないと思いますが、ぜひ

頑張つてほしい。」との励ましのお言葉をいただき、次世代への継承がいかに大切かを実感いたしました。

また、「三好賢治教育長からは剣舞「白虎隊」をご覧になり、「とても感動した。命の大切さを改めて考える良い機会になった。」との褒めの言葉をいただきました。

吟は詩の内容を理解し、その情景を吟詠で伝え、舞は詩と詠っている人の心や情景を身体で表現し会場のお客様に伝える、簡単なことのようにですが、うまくいかなければ現実です。「心で詠う心で舞う」は永遠の課題だと思えました。伝統文化を学ぶことの大切さを伝え、同じ目的に向かってお互いを尊重し、潤いのある生き生きとしたそんな生涯学習の在り方を願っています。

今年文化協会創立二十周年の記念行事を控えて忙しくなり



勢崎市文化協会加入の各団体が、メガネのイタガキ文化ホール伊勢崎に一堂に会し令和八年十一月二十一日(土)～二十三日(月・祝)に行うということなので郷土芸能部門所属の各団体と一致団結し大いに大会を盛り上げようと思っております。令和八年度も日々の練習の成果を発揮できるように頑張りますのでよろしくお願いたします。



そうです。会員も高齢化が進み人数も減少しておりますが、若い世代の会員も少しずつ増えてきています。子供たちも伝統文化に興味を持ち、未永く続けてくれることを祈りたいと思います。

また、発表会に際し、資料の作成から舞台準備全てにご協力いただきました事務局、メガネのイタガキ文化ホール伊勢崎の職員の方々に感謝いたします。



民謡民舞部門

第十九回民謡民舞発表会を終えて

小暮 教子

令和七年六月二十二日(土)第十九回民謡民舞発表会が人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センターで開催されました。幕が開きました。今年はおープリングはありませんでした。出番まで時間があるので、客席で他

の人の発表を見ていましたが、緊張からか頭に入ってきません。また、まだ連の人たちは舞台を埋めるほどの人数で圧倒されました。からりこ節を他にも広めるために頑張っていると聞きました。一途な気持ちはすごいと思います。たくさんの方の会員さんがいるので、他の舞も見てみたいと思います。

どの部門の会員さんたちも本当に高齢化が進んでおります。杖を突いて歩く人、腰を曲げて歩く人、移動も大変です。このまま終わってしまうのは悲しいです。どうでしょう、子供が手から離れた人、仕事をしていても大丈夫です、月に二回ぐらいの練習です。女性が多いですが、男性も楽しめると思っています。ぜひ一歩踏み出してみてください。

さて、私たちの出番です。先生が考えた構成を間違えないように、緊張がマックスです。舞台にライトが光りました。一曲目無事に終わりました。ほっとして緊張も少し和らぎました。次は着替えです。気持ち焦ります。二曲目、三曲目。緊張の中でも楽しく踊ることができました。達成感が体の中を廻ります。また来年も出席できるように頑張りたいと思います。



郷土芸能部門

令和七年度の行事を終えて

丸橋 良一

令和七年度より、輪番制の実行委員長に指名され、事務局の方々や各会員のご協力により何とか一年間の行事を終えることが出来ました。春の「華蔵寺公園花まつり郷土芸能発表会」では、満開の桜に誘われて多くの方に足を運んでいただくことができました。各団体が日頃より練習してきた成果を存分に発揮し、楽しそうに披露しているように思えました。

九月の「いせさきまつり郷土芸能発表会」では、花まつりほどの団体は参加できなかったのですが、お祭りの雰囲気大いに盛り上げていただきました。暑い時期のお祭りは、参加が難しい団体もあり、出演時間も限られていたため少数精鋭で参加させていただきました。少数での参加ではありますが、いせさきまつりを盛り上げられたのではないかと思っております。

郷土芸能部門最大の事業、十一月の「郷土芸能大会」ですが、例年のごとく観客動員数の少ないことが一番の課題と言えます。毎年実行委員長を始め各会員、事務局と色々と工夫しているのですがなかなか良い解決策が見つかりません。今後の検討課題として皆で解決しなければならぬと思っております。

なお、令和八年度は伊勢崎市文化協会創立二十周年にあたり、伊

洋舞部門

洋舞フェスティバルを終えて

上岡 文子

参加団体が増え、年々盛り上がりが増している洋舞フェスティバル。今年も令和七年九月七日(日)に人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センターにおいて開催されました。各団体代表が打ち合わせを重ねる準備から始まり、迎えた本番は皆で役割分担し進行をサポートし、参加者全員で華やかなステージを作り上げています。レクダンス、ペルダンス、フラダンスと皆さん日々の練習の成果を惜しみなく発揮し、緊張しつつも



自然部門

暑さに負けないで

島津 あけみ

今年の夏は、八月に伊勢崎市で四十一・八度という全国一位の記録が出ました。そんな中でも植物の生命力には驚くばかりです。しかし、大切に育てていた花を何点か枯らしてしまったことがありました。暑い夏の世話がこれからはますます難しくなりそうです。「伊勢崎洋蘭クラブ」の方々に入会していただき優美な洋蘭の美しさに感動しました。

昨年からはじめた「キッズはじめ文化チャレンジ」では、十組の方々に参加し、「小品盆栽教室」を工作室で開催しました。ピラカンサスを使って仕立て方を体験しました。小さいころにこのような経験をすると、きっと楽しい思い出になると思います。



出になるとともに、大人になっても植物に親しむ人になるかもしれません。

伊勢崎市文化協会の事業として、自然部門の仲間が同じ場所で開催できることは、有意義なことです。同じ種類の花でも植え方により、ずいぶん違うことを「黒ほおずき」の鉢植えで学ばせていただきました。他の団体との交流は楽しみです。事務局をはじめ関係者の皆様方に感謝いたします。

諸芸部門

諸芸部門の活動

本間 利男

諸芸部門は令和七年八月三十一日(日)に人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センターでイベントを開催しました。伊勢崎愛刀会は一般展示室で刀剣展示を行いました。

今年の刀剣展示は、夏休み期間中に開催され、大ホールのマジックショーと相まって、例年に比べて家族連れの来場者が大幅に増加しました。特に子供たちの参加が目立ち、「自由に触れていいよ」コーナーは大変な人気を博しました。

このコーナーでは、実際に刀剣に触れることで興味を持つ子供が多く、ある小学生の男の子から「大人と一緒に入れないの？」と尋ねられる場面もありました。「いいよ、見ていって」と声をかけると、嬉しそうに目録を手に展示を見学する姿が印象的でした。こうした体験が、将来刀剣文化を愛する大人へと成長するきっかけとなることを願っています。

また臂泰雄市長にもご来場いただき、展示内容に強い関心を示され、予定時間を大きく超えて多くのご質問をいただきました。市長の熱意は、私たちスタッフにとっても大きな励みとなりました。今年に入場者数が昨年を大きく上回り、スタッフ一同、より力を入れて運営にあたりました。特筆すべきは、事務局が新たに制作してくださった立派な看板です。これまで手作りの掲示物で対応していた入口看板が、視認性と美貌を兼ね備えたものに刷新されたことで、誘客効果が高まりました。事務局のご協力で、心より感謝申し上げます。

今後の課題としては、子供向けの安全対策や案内表示の充実、展示体験の多様な化などが挙げられます。来年度は、より多くの市民に刀剣文化の魅力を伝えるため、体験型企画やデジタル技術の活用

なども検討してまいります。

伊勢崎愛刀会は、千数百年にわたって受け継がれてきた「鉄の芸術」を未来へ繋ぐため、微力ながらも尽力してまいります。今後とも、市民の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

伊勢崎マジッククラブの発表会は、大ホールにて開催しました。当日は、受付開始の一時前からすでに多くのお客様が来場され、入場開始後には瞬く間に大ホールが満席となり最終的には延べ八百名以上のお客様をお迎えすることができ、盛況の内に発表会が開催されました。

今年の発表会には、クラブ所属の女性六名、男性七名、特別出演として小学三年生の女の子一名の計十四名が出演しました。

演目は、鳩だしマジック、フアイヤーマジック、イリュージョンマジックをはじめ、シルク、フラワー、ステッキ、パラソル、水などを使用した多彩なマジックが披露されました。更には、会場からも小学生が舞台上がり舞台と会場が一体になりマジックを楽しみました。

本発表会は、地域住民の皆様マジックの楽しさと魅力を伝える貴重な機会になるとともに、クラブ員にとっても日ごろの練習の成果を発表する大切な場となりました。今後も引き続き、地域に根差した活動を行ってまいります。

最後に今回の発表会にあたり、会場にお越しいただいたお客様、年間を通してマジックの指導をしていただきました天晃マジック

三日間の間に延べ約八百人が来場し、盛会のうちに終えることができました。

展示会前日の飾り付けでは、事務局がパネル等の会場準備を事前に整えて待っていただきました。書道界も少しずつ高齢化が進んでいる昨今、脚立を使っている作業も年々難しくなる中、非常に助かりました。一つの目標に向かって、皆さま一人ひとりが力を合わせて開催できていることに、改めて気づかせていただく機会となりました。

作品づくりでは、なかなか思うようには書けませんが、その時その時の精一杯をご披露させていただけるこのような場があることは、私たちにとても大きな励みとなっております。生涯学習が広く唱えられるようになってから久しいですが、楽しく学ぶこと、研鑽し合える仲間がいること、そして書を通して多くの方々に出会



書道部門

感謝のうちに…

萩原 裕子

伊勢崎市文化協会主催による第十九回書道展が、令和七年六月二十七日(金)～二十九日(日)の三日間、人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センターにて開催されました。

今年も十八団体、百八十六名の会員により、漢字・かな・近代詩文・篆刻と会派を超えた個性あふれる作品が集まりました。各作品は一般展示室・展示ロビー・小ホールにそれぞれレイアウトされ、



の先生、受付、ビデオ撮影のスタッフの方、景品等を提供していただきました支援者の皆様、朝早くから一日お手伝いいただきました、事務局に心よりお礼申し上げます。



美術部門

作品展を振り返って

近藤 悦子

令和七年九月五日(金)～七日(日)に人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センターにて総合作品展が開催されました。人の縁を作りながらサークルに集い、時間を忘れて没頭し、楽しく取り組んだひとつひとつの作品を会場で披露できました。ことを何よりも嬉しく思います。

昨年同様ワンフロアにして展示しました紫墨会と水彩画会作品は、水墨の濃淡の奥深い表現と、水彩独特の柔らかい優しい雰囲気広がりが、心を穏やかに包み込んでくれました。

原ノ城窯の陶器は、一家団欒の楽しい食卓が目前に浮かんでくるような作品で、明るく和やかな温かい展示となりました。

一般展示室では、フラワーアレンジメント華、天然石ビーズアクセサリーHANA、墨絵アート、F刺繍倶楽部の四団体が展示し、広さを生かして『花』を取り入れ、統一感を表現しました。華やかな洋風和風の花々の彩り、目を引く天然石の輝き、魚群多種の技法の刺繍、中央には原ノ城窯の花器で大作を飾るなど、鮮やかな展示室となりました。

たくさんの方の来場者が訪れ、見どころ満載で見応えがあり素晴らしいと感じました。丁寧に見られた人もいて、作家冥利に尽きる思いです。



恒例の「キッズはじめて文化チャレンジ」のフラワーアレンジメント体験教室では、リピーターも増え、親子と一緒に楽しい時間を過ごすことができました。初めてのワークショップでは、押し花と刺繍を使ったコースター作りを行い、材料が足りなくなるほど盛況に終わりました。今後とも、魅力ある素敵な作品展になることを願って、私たちは健康で楽しく作品を作り続ける所存です。

えましたことは、私の人生において何ものにも代えがたい大切なものとなっております。

展示会を開催するにあたり、ご尽力くださいました新井哲郎文化協会会長、丸橋孝男書道部門実行委員長、そして温かくサポートしてくださいました事務局に心より感謝申し上げます。



写真部門

池田 育兄

毎年恒例の伊勢崎市文化協会主催写真展を令和八年三月二十日(金・祝)～二十二日(日)の三日間メガネのイタガキ文化ホール伊勢崎で開催しました。三日間の一般公開展示が好評の内に無事



に終了できましたこと、各クラブ会員の皆様はじめ事務局に心より厚く感謝いたします。

数年間楽しみつつ情報を集め撮影に出かけ作品に仕上げるまで、努力された結果を発表する機会があることは楽しみでありです。その結果が個性豊かな作品となり、多くのご来場者様が心から感動されたことと推察いたします。

各クラブも高齢化が進み、会員の減少も仕方ないことですが、今回の展示会を通して写真の楽しさや素晴らしさが伝わり、写真を始めたいと思う方が現れ、各クラブの会員増強につながり、益々の発展と活躍の場が広がることを期待します。

また、令和八年三月七日(土)に少しでも写真に興味を持っていただければと思ひ親子スマホ写真



体験を伊勢崎市みらい公園にて開催しました。桜の写真撮影していたところと考へ、河津桜の見ごろの時期に合わせて開催しました。そこで、ふわふわドームの前に移動し、子供がドームの上がりジャンプを始めたところを保護者が一生懸命撮影してくれました。スマホ用の広角レンズ・望遠レンズ・接写用レンズを購入し、実行委員長からは卓花等準備していただき、スマホ写真体験を盛り上げてくれました。また、撮影した写真の中から一枚を選び、写真展にて展示しました。スマホ写真体験に参加された親子がご自身の写真や、他の展示作品を見て楽しんでる姿が印象に残っています。

華道部門

花でつなぐ文化

國定 かよ子

今年のいけばな展は令和七年六月二十一日(土)～二十二日(日)人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センターにて、六流派の会員中、四十二名の出席で開催されました。

当初、一般展示室はバックのボードは低い予定でしたが、会場に着いたら既に高い方で事務局の方が準備してくださりと、とてもよい会場になっておりました。それから、照明のスポットの当たり方など、生け込み後も色々心配してくださり、濃やかな心遣いに対し心より感謝いたしております。

六月の花展は初めてでしたが、皆さん素敵な花材を見つけて、花葉と向き合い、楽しんで生けてい



たのを感じました。季節柄、紫陽花や向日葵を使った人も多く見受けられましたが、使い方がそれぞれで楽しかったです。

見学に来てくださった方も熱心に、一時間くらいかけて良く見てくださいました人もおりました。それから事務局で用意してくださったパンフレットがとても見やすくと評判でした。

令和六年十二月十六日(木)に伝統的な様式に依りて季節の草木や花、花器を選び、花鉢等の花道具を用い、伝統的な技法等により生けるものとして、「華道」が国の無形文化財に登録されました。登録無形文化財の調査報告書により「華道は自然と人間との関係を自覚するという精神的な過程を内包する文化芸術である」とのことです。

私たちがなげなく行っている花を生けることが伝統文化としての精神性も備えているという



ことで、これら子供たちにも伝承しなくてはならないと思います。お陰様でキッズはじめて文化チャレンジとして、子供たちへのいけばな体験事業も三年目となりました。同じ花材でも花の表情はそれぞれ違うのでそれを捕えて、個性豊かに皆さん違った花が生けられます。次世代の子供たちにお花を生ける楽しさや感動を体験してもらい、次の文化の担い手となつていただけることを切に願っております。

茶道部門

茶会に参加して

井上 みどり

早すぎる梅雨明けから令和七年九月七日(日)の茶会当日まで長く暑い夏が続きました。人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センターに三つの席を設け、大勢のお客様にお越しただいて今年も茶会が開催されました。

猛暑続きで床を飾る茶花がうまく咲かず、わざわざ山へ行つて調達するなど各席毎に今年ならではの工夫がなされたようです。私たちの席では、親先生の提案で尾形乾山写しの『花籠図』を床に掛け、そこに描かれた桔梗や小菊などを見て秋を感じていただきました。

今回の席は、四つの社中が協力して計画し、道具の持ち寄り、役割分担、点前の流れなどを相談して



音楽部門

脚光と喝采の向こう側に

岡本 亮太

令和七年十一月十五日(土)、第十九回伊勢崎市民音楽祭が開催されました。

今年度は新加入の団体を含む音楽部門に所属する十七団体すべてが参加し、大盛況のうちに終えることができました。私自身は体調の都合で奏者としての参加が叶わず、微力ながら舞袖でお手伝いをさせていただけました。その時に私は、煌びやかな音楽に溢れた市民音楽祭の裏にある、「もう一つの市民音楽祭」に出会いました。そこには、本番を前にして歌唱、演奏に意気込む参加者の真剣な表情や、市民音楽祭の成功を願って支えてくださるセンター職員様や事務局の皆様

行いました。準備に費やす時間はやや増えましたが、社中間の距離が縮まるなどプラス面が多かったように感じます。

お客様は、涼し気な萩焼の水指や蜻蛉の蓋置などに目を細められ、本部長長好みの珍しい桂棚を興味深そうに鑑賞されました。何より、お茶とお菓子を美味しく召し上がる様子に、私たちは喜びと安堵を感じました。また、四社中合同の良さを生かそうと、数茶碗の代わりに色や形が異なる茶碗を各自が持ち寄つてお出ししたところ、これも好評で、お隣同士で茶碗を見合うなどして和やかな空気が流れていました。最後に全員が集まったところで大日本茶道学会の前支部長が、「お茶は一人では成り立たぬもの。皆さんの協力の賜物です。」とおっしゃいました。本当にその通りで、互いに心を通わせながら自分の役割に真摯に向き合ったからこそ笑顔で締めくくることが



できたのだと思えました。また、影になりお手伝いいただきました事務局に感謝申し上げます。ありがとうございました。

文学部門

令和七年度の作品展を終えて

柴崎 光昭

伊勢崎市文化協会主催の作品展が令和七年六月二十一日(土)～二十二日(日)の二日間、人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センターで開催されました。

伊勢崎市民俳句会も参加させていただけました。最近の俳句ブームのせいでしょうか、自分なりに納得のいく句が出来るまで数日かかることもあり会員の方々は頑張りました。十七文字に情景描写をすることは難しいかもしれませんが、できた時には喜びもあり大変楽しい時間を過ごすことができます。毎月一回伊勢崎

新規加入団体

(敬称略)

- 美術 アルテの風 小倉 進
 - 音楽 コーラス楓 須藤 貴子
 - 音楽 エバーグリーン アンサンブル 田辺 悦郎
- 以上三団体が伊勢崎市民文化協会に加入いたしました。

伊勢崎市民文化協会への新規加入案内

伊勢崎市民文化協会は、伊勢崎市における各文化団体の連絡調整を図るとともに活動を援助し、その向上発展に務め、本市における芸術文化振興発展に寄与することを目的としています。各地域で活動なさっている皆さんも加入を検討してみたいかがでしょうか。

《入会資格》

- ・主に伊勢崎市中で活動する団体
- ・五名以上で組織する団体

- 《部門》①美術 ②書道 ③写真 ④華道
- ⑤茶道 ⑥文学 ⑦音楽 ⑧歌謡
- ⑨邦楽舞踊 ⑩吟剣詩舞 ⑪民謡民舞 ⑫郷土芸能
- ⑬洋舞 ⑭自然 ⑮諸芸

の十五部門があります。

※常任理事会で承認を得て入会となります。

【個人がいずれかのサークルに入りたい場合】

《各サークルへの入会希望者》事務局まで希望の部門・サークル名をご連絡いただければ、サークル代表者との連絡をお繋ぎいたします。

○お問い合わせ・入会の申し込み先
伊勢崎市民文化協会事務局(伊勢崎市産業経済部文化観光課内)

Tel 0270・271・2758



←詳しくはコチラ
市ホームページ
伊勢崎市民文化協会の
ページをご確認ください

フラダンス



練習



本番

＼はじめてって楽しい♪／

ぎん けん し び 吟剣詩舞



練習



本番

こと お 箏



練習



本番

キッズはじめて 文化チャレンジ

さ ち 茶 道



はな い け 花



マジック



ぼん さい 盆 栽



フラワー アレンジメント



しゃ しん 写 真



令和7年度は、9部門で「キッズはじめて文化チャレンジ」を実施し、多くの子供たちへ文化芸術に親しむ機会を提供しました。令和7年度の参加者は100人超え！多くの子供たちに文化を体験してもらうことができました。

令和8年度 伊勢崎市文化協会団体名簿

(令和8年5月1日現在)

	団体名	代表者	会員数
洋舞	1 JAあずまフラクラブ	細野 京子	10
	2 レクダンス三郷	永島 トシ江	15
	3 ハイビスカス豊受	藤本 清子	11
	4 プアリリレフア	後藤 三佐子	10
	5 ハイビスカス赤堀	金井 比呂子	10
	6 ヒナノ	下田 かず江	10
	7 ピカケ伊勢崎	都丸 美恵子	13
	8 Puanani	鳥越 美智子	14
	9 レイモミ	津久田 キヨ江	10
	10 レクダンス三郷小町	吉田 和枝	14
	11 ロゼラニ	田端 道子	6
	12 フラサークルパカラナ	吉田 千恵子	10
	13 'Ohana Lōkahi	上岡 文子	40
	14 名和ナイスフラレディース	小野里 千代美	18
	15 フラグループ Nā Lei	金井 友子	10
	16 カブア	渡辺 明美	13
	17 レクダンスKSG	坂田 きよみ	10
	18 Pasion Peru	竹原 ドラ	20
	19 レクダンスパープル	小澤 富士子	15
	20 フィオククナ	角田 憲子	15
	21 プアナニ ロケ	丸山 佐登美	10
	22 レクダンス名和	中野 文江	14
	23 Rainbow	飯島 由枝	6
	24 ノアメリア	金井 順子	10
合計	24団体	314	
自然	1 伊勢崎小品盆栽会	金井 由一	17
	2 伊勢崎山草会	島津 あけみ	4
	3 伊勢崎菊花同友会	小島 勝	10
	4 境山草会	原島 和生	17
	5 うえはす山野草の会	小野里 美恵子	10
	6 伊勢崎洋蘭クラブ	田村 幸一	11
合計	6団体	69	
諸芸	1 伊勢崎マジシャンクラブ	菊地 正之	13
	2 伊勢崎愛刀会	国定 隆司	12
合計	2団体	25	
総計	170団体	3,870名	



	団体名	代表者	会員数
吟剣詩舞	1 寿流 日舞詩舞 鶴登加会	山下 美津子	14
	2 寿流 日舞詩舞 鶴久紀会	原 けい子	20
	3 心彰流 伊勢崎吟詠会	阿久津 幸次	9
	4 吟道館流 伊勢崎吟詠会 緑陰の集い	若林 通夫	50
	5 吟道館流 上武吟詠会 那波の会	石田 英生	30
	6 美扇流 鶴緑会	齋藤 幸枝	4
	7 吟道館流 上武吟詠会 瑞雲の会	岡林 延夫	15
	8 吟道館流 伊勢崎吟詠会 芙蓉の会	小林 清浩	14
	9 吟道館流 伊勢崎吟詠会 東吟の集い	塩島 弘子	10
	10 吟道館流 伊勢崎吟詠会 華の会	松村 進	22
	11 心彰流 剣彰会	齋藤 ひとみ	15
	12 美心流 東栄諏訪美会	諏訪 勝美	12
	13 心彰流 あずま吟詠会	高橋 良作	15
	14 心彰流 あずま剣詩舞教室	白川 節子	10
	15 菊水流 菊崇会	田村 雅代	8
	16 日本詩吟学院 芙蓉会	小澤 まち子	16
	17 心彰流 吟晝会	小暮 利明	11
合計	17団体	275	
民謡民舞	1 旭星会	高野 邁	10
	2 旭星会三絃尺八クラブ	高野 邁	10
	3 天秋会	大谷 ヒデ子	10
	4 天秋会江原教室	江原 昌代	10
	5 秀月会	小峰 トシ子	10
	6 山輝稚会	森村 米多	10
	7 宮子民踊会	臂 勝代	9
	8 優乃会	水島 正枝	7
	9 まちだ連	梶山 時子	32
合計	9団体	108	
郷土芸能	1 伊勢崎交通安全協会女性部八木節部	松島 カツイ	18
	2 神谷八木節会	高木 栄	25
	3 赤堀郷友会	金子 英保	18
	4 上洲名八木節保存会	長沼 圭一	17
	5 百々親友会八木節部	菊池 広文	57
	6 伊勢崎和太鼓	藤川 征重	20
	7 荒木流拳法保存会	鈴木 清一郎	20
	8 木遣り保存会	細谷 幸雄	50
	9 千本木龍頭神舞保存会	大和 弘幸	27
	10 南北千木町屋台囃子保存会	丸橋 良一	35
	11 上州あずま太鼓会	須賀 正文	36
	12 氣楽流柔術保存会	水科 壽美	30
	13 下洲名獅子舞保存会	大橋 則之	18
	14 東新井獅子舞保存会	柄本 史朗	29
	15 東町囃子保存会	岡本 宇正	50
	16 女塚祭礼囃子保存会	真貝 豊	36
	17 栄町祭囃子保存会	石澤 俊昭	107
	18 三ツ木祭礼囃子保存会	室田 幸広	34
	19 上州・境雉子尾太鼓	柿沼 盈	46
	20 剛志民謡保存会	森村 清志	17
	21 赤堀ひごろも太鼓	吉田 和義	12
	22 美茂呂町屋台囃子保存会	村田 利雄	30
	23 上州国定睦	井上 潤	10
	24 福島町八木節保存会	本木 栄一	23
	25 群天星	安里 サラ	24
合計	25団体	789	

	団体名	代表者	会員数
音楽	1 伊勢崎市民吹奏楽団	岡本 亮太	48
	2 アイオーしんきん音楽部	菊池 綾花	16
	3 ISESAKI SMC BIG BAND	片岡 由佳莉	34
	4 早川歌謡バンド	中島 五郎	25
	5 合唱団コール・ルーエ	浜田 樹	29
	6 伊勢崎混声合唱団	梅澤 晋	19
	7 伊勢崎コーラス・ノイエ	新井 きみ子	32
	8 コーラス・ヴィオラ	佐藤 葉子	16
	9 伊勢崎第九を歌う会	櫻井 正彦	80
	10 混声合唱団 風	池田 昌子	22
	11 あすなるハーモニカクラブ	石橋 久	18
	12 凜	平田 康子	16
	13 オカリナ・響	藤生 ゆう子	15
	14 コールぼこ・あ・ぼこ	田中 悦子	28
	15 あんさんぶる22	下田 清子	12
	16 大正琴アンサンブル オリーブ	内田 晃美	15
	17 女声合唱団 アマリリス	三好 もとめ	11
	18 コーラス楓	須藤 貴子	11
	19 エバーグリーン アンサンブル	田辺 悦郎	19
合計	19団体	466	
歌謡	1 白樺会	阿久澤 キミ子	24
	2 白川恵美歌謡学院境教室	北 サヨ子	121
	3 大国歌謡クラブ	生形 明美	27
	4 清水歌謡教室	坂田 美佐夫	5
	5 うぐいす会	児島 エミ子	34
	6 TAKESHIクラブ	井上 喜久寿	25
	7 歌謡教室ひばり会	田島 初美	13
	8 歌謡教室チェリー	奥積 房江	16
	9 TUTUJIクラブ	米山 とみ糸	21
	10 サークル・プルメリア	亀井 邦夫	22
	11 サークル・いろはにほ	川島 美重子	22
合計	11団体	330	
邦楽舞踊	1 伊勢崎邦楽舞踊協会	青山 正弘	60
	2 祐妃会	川島 かずみ	20
	3 悦紅会	飯塚 悦子	10
	4 扇優会	石倉 優美子	22
	5 吉三会	阿久津 テル子	10
	6 若駒会	星野 良枝	10
	7 成駒会	田所 陽子	12
	8 琴謡会	井上 明子	8
	9 美也珠会	小島 美也子	10
	10 日本舞踊あゆみ会	佐野 恭子	26
	11 樹鳳会	小竹 淑子	10
	12 久紀の会	川端 和子	20
	13 ことほぎ	尾内 能利江	11
	14 好風会	角田 庸子	10
	15 ゆり枝会	高橋 ゆり子	8
	16 いせさき能実行委員会	齋藤 美智子	11
	17 たのしい舞踊の会	高山 晴江	10
	18 紅葉會	小此木 明子	30
合計	18団体	298	

	団体名	代表者	会員数
美術	1 紫墨会	石原 素子	13
	2 境水彩画会	須藤 勝子	16
	3 境フラワーアレンジメントサークル	齋藤 美智子	33
	4 原ノ城窯	鈴木 茂	13
	5 天然石ビーズアクセHANA	近藤 悦子	10
	6 華乃会	茂木 敦子	6
	7 アルテの風	小倉 進	6
合計	7団体	97	
書道	1 清月書道会	福田 令子	40
	2 書道研究 墨鳴会	丸橋 孝男	50
	3 書藝研究会	北爪 真里子	8
	4 円かな書会	栗原 ウメ子	14
	5 玉葉会	石橋 満津枝	17
	6 昇雲会	藤枝 幹雄	30
	7 祥山書会	神宮 まり子	11
	8 書宝会	松本 近史	10
	9 雪月華書道会	高野 千春	10
	10 草友会	高柳 託治	9
	11 大蛙洞書道会	大貫 八生	17
	12 東光書道会	新井 哲郎	40
	13 淵名印社	大貫 勝利	10
	14 翠香会	根岸 幸子	23
	15 利根書会	町田 直美	17
合計	15団体	306	
写真	1 写団国定	神田 武	7
	2 写団チングルマ	永井 昇	15
	3 P・C アベックス	池田 育兄	8
	4 写真倶楽部ペーニャ	小倉 良枝	34
	5 [写心塾] A.P.C.	秋山 曄	18
合計	5団体	82	
華道	1 伊勢崎いけばな協会 桜	柳澤 三千代	100
	2 伊勢崎いけばな協会 松	石原 文子	100
合計	2団体	200	
茶道	1 伊勢崎茶道会 大日本茶道学会	宮澤 春江	106
	2 伊勢崎茶道会 江戸千家宗家	中島 澄子	60
	3 伊勢崎茶道会 表千家	加藤 茂美	150
	4 伊勢崎茶道会 裏千家	萩原 豊子	50
	5 伊勢崎茶道会 江戸千家	有川 よし子	30
合計	5団体	396	
文学	1 境図書館短歌会	光山 半彌	18
	2 群馬童話研究会	木村 幸江	15
	3 鈴木惣太郎を守る会	新藤 暁旦	45
	4 紙芝居を楽しむ会	新藤 靖	20
	5 伊勢崎市民俳句会	柴崎 光昭	17
合計	5団体	115	

令和7・8年度 伊勢崎市文化協会常任理事名簿

敬称略

役職	氏名	所属部門	役職	氏名	所属部門
会長	新井 哲郎	書道	〃	萩原 豊子	茶道
副会長	丸橋 孝男	書道	〃	新藤 靖	文学
〃	川島 和美	邦楽舞踊	〃	木村 幸江	文学
〃	菊地 正之	諸芸	〃	岡本 亮太	音楽
〃	石倉 優美子	邦楽舞踊	〃	北 サヨ子	歌謡
書記	石原文子	華道	〃	井上 喜久寿	歌謡
〃	原 けい子	吟剣詩舞	〃	石田 英生	吟剣詩舞
会計	永島 トシ江	洋舞	〃	大谷 ヒデ子	民謡民舞
〃	片岡 由佳莉	音楽	〃	江原 昌代	民謡民舞
監事	小倉 良枝	写真	〃	丸橋 良一	郷土芸能
〃	栗原 幸子	美術	〃	大橋 則之	郷土芸能
常任理事	鈴木 茂	美術	〃	細野 京子	洋舞
〃	茂木 敦子	美術	〃	金井 由一	自然
〃	池田 育兄	写真	〃	島津 あけみ	自然
〃	柳澤 三千代	華道	〃	国定 隆司	諸芸
〃	有川 よし子	茶道			

令和7年度 伊勢崎市文化協会賛助会員名簿

順不同・敬称略

No.	賛助会員名	代表者等	住所	電話番号
1	祐妃会	川島 和美	伊勢崎市今井町 377	0270-26-7580
2	ギフトPR品のハロー商事	佐藤 剛史	伊勢崎市下蓮町 253-2	0270-32-6096
3	伊勢崎ユネスコ協会	会長 長沼 宏泰	伊勢崎市今泉町二丁目 4 1 0 番地	0270-27-2793
4	フローリストみね	藤井 栄	伊勢崎市曲輪町 15-10	0270-23-3628
5	清水生花店	清水 秋夫	伊勢崎市三光町 7-23	0270-26-8741
6	阿久津 幸次	—	伊勢崎市昭和町 4071	0270-23-8069
7	カワバタ設計	川端 俊明	伊勢崎市八幡町 45-2	0270-25-8756
8	有限会社保坂工務店	保坂 正男	伊勢崎市波志江町 3667	0270-24-1905
9	西ひとみ社会保険労務士事務所	西 ひとみ	伊勢崎市田部井町一丁目 1166-20	0270-61-0570
10	平井産業運輸有限公司	磯 定雄	伊勢崎市平井町 1082	0270-62-4102
11	株式会社桜井土建	櫻井 明江	伊勢崎市三室町 6148	0270-62-3650
12	株式会社田村建設	田村 知幸	伊勢崎市小泉町 450-4	0270-63-3333
13	カラオケスタジオ・ユー	荒木 宥子	太田市新田大根町 596	090-2240-4850
14	有限会社ワイズ・プランニング	山口 善弘	伊勢崎市今泉町一丁目 1099	0270-24-5033
15	扇優会	石倉 優美子	伊勢崎市下道寺町 394-3	0270-32-6686
16	川島美術印刷株式会社	川島 和美	伊勢崎市中町 760	0270-25-8111
17	吉三会	阿久津 テル子	伊勢崎市安堀町 1720	0270-24-1870
18	株式会社 大成エクステリア	田所 武久	伊勢崎市西久保町一丁目 418	0270-62-1575

令和7・8年度 伊勢崎市文化協会会報編集委員名簿

敬称略

No.	役職	氏名	部門	所属
1	委員長	本間 利男	諸芸	伊勢崎マジシャンクラブ
2	委員	茂木 敦子	美術	華乃会
3	委員	福田 令子	書道	清月書道会
4	委員	池田 育兄	写真	P・C アペックス
5	委員	國定 かよ子	華道	伊勢崎いけばな協会 松
6	委員	有川 よし子	茶道	伊勢崎茶道会江戸千家
7	委員	柴崎 光昭	文学	伊勢崎市民俳句会
8	委員	岡本 亮太	音楽	伊勢崎市民吹奏楽団
9	委員	井上 喜久寿	歌謡	TAKESHIクラブ
10	委員	飯塚 悦子	邦楽舞踊	悦紅会
11	委員	齋藤 幸枝	吟剣詩舞	美扇流 鶴緑会
12	委員	臂 勝代	民謡民舞	宮子民踊会
13	委員	菊池 広文	郷土芸能	百々親友会八木節部
14	委員	上岡 文子	洋舞	'Ohana Lōkahi
15	委員	島津 あけみ	自然	伊勢崎山草会

令和8年度 伊勢崎市文化協会 功労表彰被表彰者名簿

長年にわたり文化活動に多大な貢献をされてきた協会構成員の方々を表彰しています。

敬称略

部門	所属団体	氏名	部門	所属団体	氏名
美術	原ノ城窯	大沢 秋子	邦楽舞踊	祐妃会	五十嵐 みつ江
書道	草友会	高柳 託治	吟剣詩舞	心彰流伊勢崎吟詠会	阿久津 幸次
写真	写心塾 A.P.C.	秋山 曄	民謡民舞	天秋会	松原 義弘
華道	伊勢崎いけばな協会	坂本 良江	郷土芸能	赤堀郷友会	金子 英保
茶道	伊勢崎茶道会 大日本茶道学会	遠藤 好子	洋舞	ハイビスカス赤堀	齋藤 千代子
文学	みさと短歌会	吉沢 典子	自然	伊勢崎菊花同友会	小川 弘
音楽	ISESAKI SMC BIG BAND	新井 周雄	諸芸	伊勢崎愛刀会	齋藤 久雄
歌謡	歌謡教室チェリー	奥積 房江			